

第一生命経済研レポートテーマ (2008年4月～7月)

| | | |
|--|---|--|
| <p>2008年4月号 (通巻133号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・中小企業アイ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・中小企業アイ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <p>「実質の罨」～実効為替レートで見た円の水準～ 日本経済～弱点を狙い打たれる日本経済～ 海外経済～東アジアで進む保守の波～ 経済フローチャート～日本経済の現状と6ヶ月見通し～ インフレ懸念と円高ドル安の蓋然性 円債利回り・ドル/円レートの6ヶ月見通し 2008・2009年度日米経済見通し 日本～2007年10-12月期GDP統計2次速報後改訂～ 米国～景気対策で一旦加速も資産価格下落が成長を抑制～ 民間調査機関の経済見通し(2008年2月) ～輸出減速により景気拡大ペースは鈍化も景気後退は回避との見方が コンセンサス～ 英米型資本主義の興隆とその将来⑩ 中小企業のサービス・マネジメント② 産業別利益動向 ～日本経済の足元チェック～</p> |
| <p>2008年5月号 (通巻134号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・中小企業アイ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・中小企業アイ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <p>長期的視点にたったシステム構築の重要性 日本経済～ドル安・原油高のインパクト～ 海外経済～米国は深刻な景気後退回避も回復力は鈍く～ 経済フローチャート～日本経済の現状と6ヶ月見通し～ サブプライム解決後も上昇余地小さい日本株 円債利回り・ドル/円レートの6ヶ月見通し 輸入小麦30%値上げのインパクト ～一世帯年間3,013円の家計負担増等により実質GDP▲2.867億円 押し下げ～ 2008年度夏季賞与予測 ～民間一人当たり支給額は前年比▲0.5%と前年割れが続く見込み～ 英米型資本主義の興隆とその将来⑪ 中小企業のサービス・マネジメント③ 産業別利益動向 ～日本経済の足元チェック～</p> |
| <p>2008年6月号 (通巻135号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <p>窮地に陥ったブラウン英首相 日本経済～コストプッシュインフレへの対応～ 海外経済～世界に広がる食糧危機に日本が取れる対応は～ 経済フローチャート～日本経済の現状と6ヶ月見通し～ 次なるハードルは原油高への対応 円債利回り・ドル/円レートの6ヶ月見通し 対内直接投資増加による労働生産性の向上 ～政府目標の実現で労働生産性は年に2.3%程度上昇～ 「家計の金融行動に関する世論調査」(2008年)を読む ～金融資産の増加の背後にある資産分布の二極化～ 英米型資本主義の興隆とその将来⑫ 産業別利益動向 ～日本経済の足元チェック～</p> |
| <p>2008年7月号 (通巻136号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・内外景気 ・金融マーケット ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・シリーズ ・セクター分析 ・マクロ経済空模様 | <p>どう組織を活性化し、進化させるか 日本経済～定着期に入るクールビズ商戦～ 海外経済～米国でスタグフレーション懸念台頭～ 経済フローチャート～日本経済の現状と6ヶ月見通し～ 資源高騰を抑えて過度の金利上昇を回避せよ 円債利回り・ドル/円レートの6ヶ月見通し 2008・2009年度日米経済見通し 日本～2008年1-3月期GDP統計2次速報後改訂～ 米国～住宅価格の下落で2008年中回復感の乏しい状況～ 労働力人口の減少により国内の専門職は大幅に減少 ～国内人材の更なる活用と海外の高度人材の取り込みで人的資源 の確保を～ 英米型資本主義の興隆とその将来⑬ 産業別利益動向 ～日本経済の足元チェック～</p> |